

北陸経済調査

〔管内経済の概況〕

北陸財務局管内(石川県、富山県、福井県)の最近の経済動向をみると、緩やかに拡大しつつある。

(総括判断のポイント)

個人消費は、緩やかに拡大しつつある。

生産は、拡大の動きに一服感がみられる。

雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が強まっている。

【先行き】

- 雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに拡大していくことが期待される。
- ただし、通商問題の動向、中国経済の先行きなど海外経済の動向に関する不確実性が企業活動に与える影響を一層きめ細かく注視するとともに、人手不足に伴う影響などを注視する必要がある。

【総括判断】

項目	令和元年7月	令和元年8月	前回との比較
総括判断	緩やかに拡大しつつある。	緩やかに拡大しつつある。	→

【主要項目の判断】

項目	令和元年7月	令和元年8月	前回との比較
個人消費	緩やかに拡大しつつある。	緩やかに拡大しつつある。	→
住宅建設	持ち直している。	持ち直している。	→
生産	拡大の動きに一服感がみられる。	拡大の動きに一服感がみられる。	→
雇用情勢	着実に改善しており、人手不足感が強まっている。	着実に改善しており、人手不足感が強まっている。	→

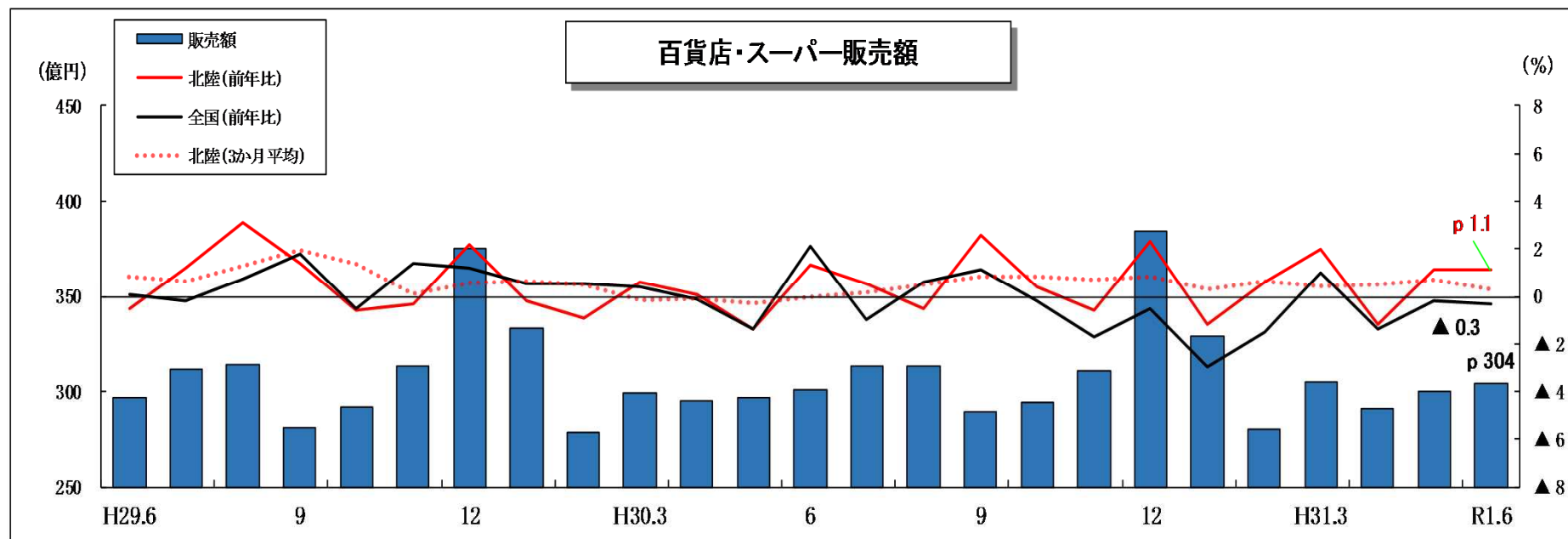
令和元年8月
財務省 北陸財務局

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858
FAX (076) 292-7953

1. 個人消費 … 緩やかに拡大しつつある

(1) 百貨店・スーパー販売

6月の百貨店・スーパー販売は、スーパーでは、飲食料品に動きがみられることなどから、前年を上回っている。一方、百貨店では、高額品や化粧品に動きがみられるものの、衣料品の動きが鈍いことなどから前年を下回っている。以上のような状況などを踏まえると、全体では緩やかに回復している。



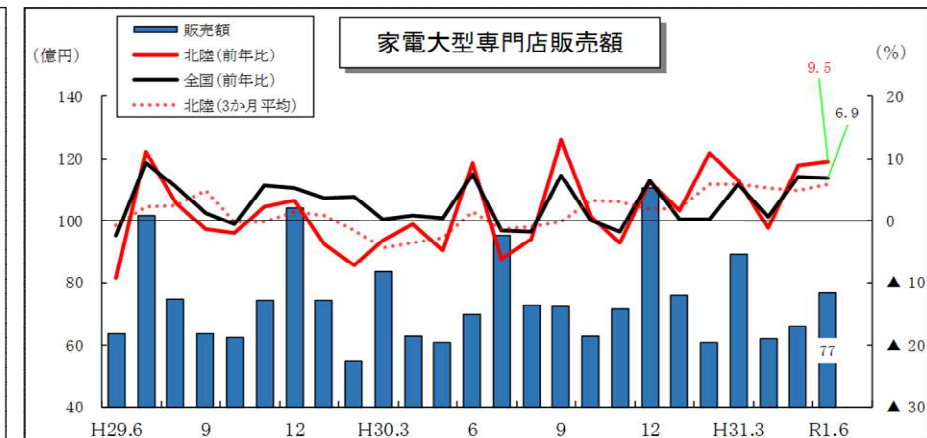
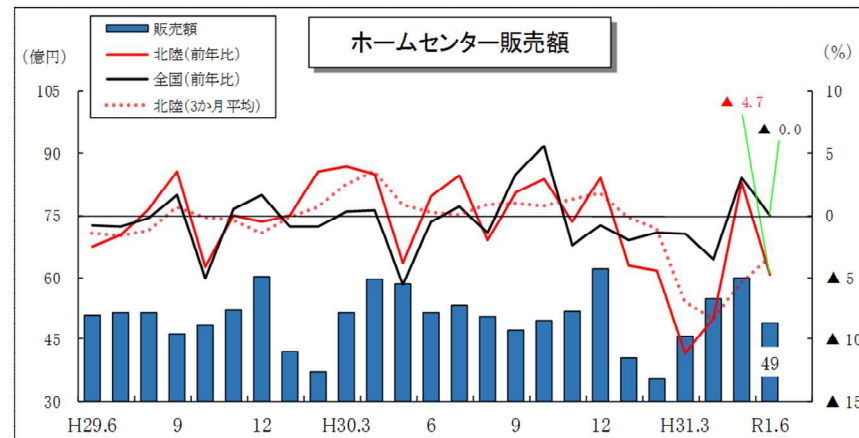
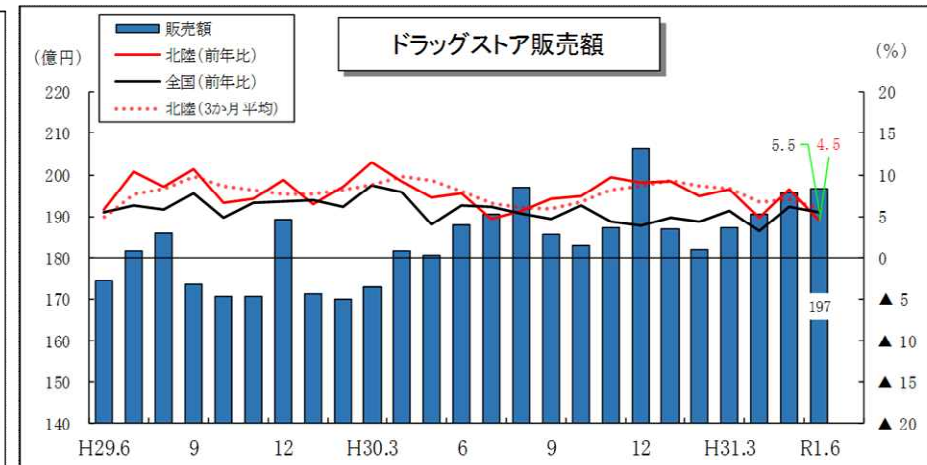
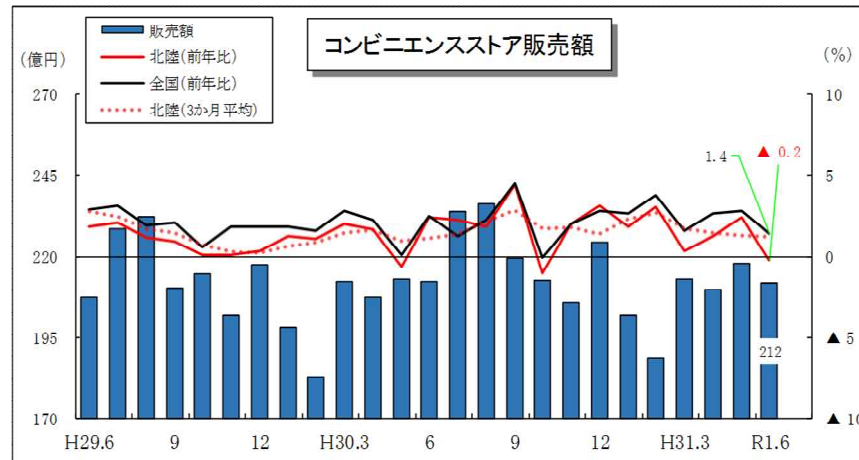
(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局

(2) コンビニエンスストア販売等

6月の

- ・ **コンビニエンスストア販売**は、飲料の動きが鈍いことなどから、前年並みとなっている。
- ・ **ドラッグストア販売**は、新規出店効果が引き続きみられることから、好調となっている。
- ・ **ホームセンター販売**は、園芸用品等の動きが鈍いことから、弱い動きとなっている。
- ・ **家電大型専門店販売**は、冷蔵庫等の白物家電やテレビに動きがみられることから、緩やかに回復しつつある。

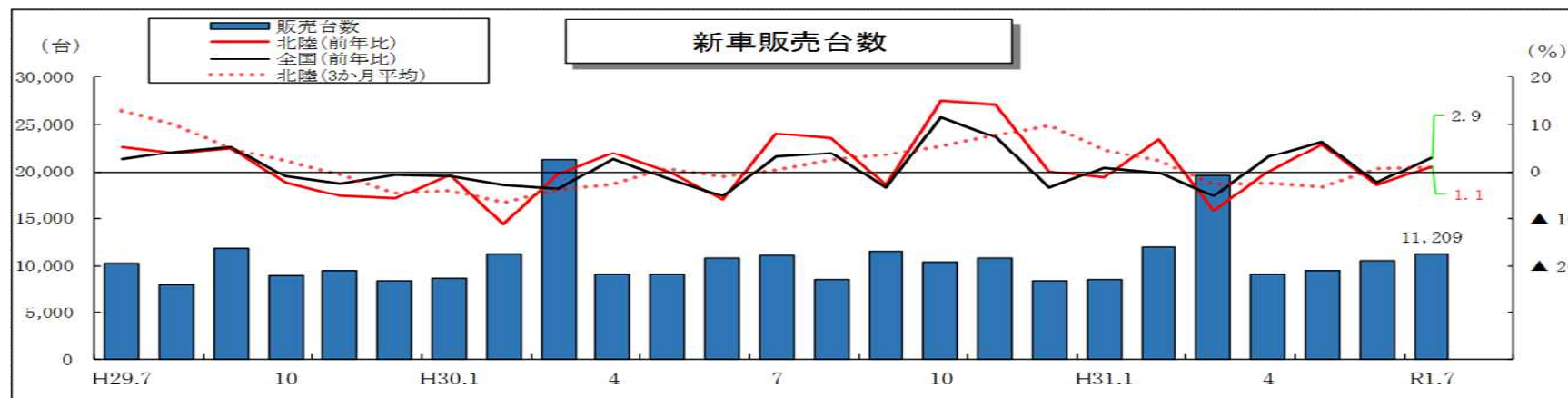


（注）3か月平均は当局試算。

（資料）経済産業省、北陸財務局

(3) 新車販売

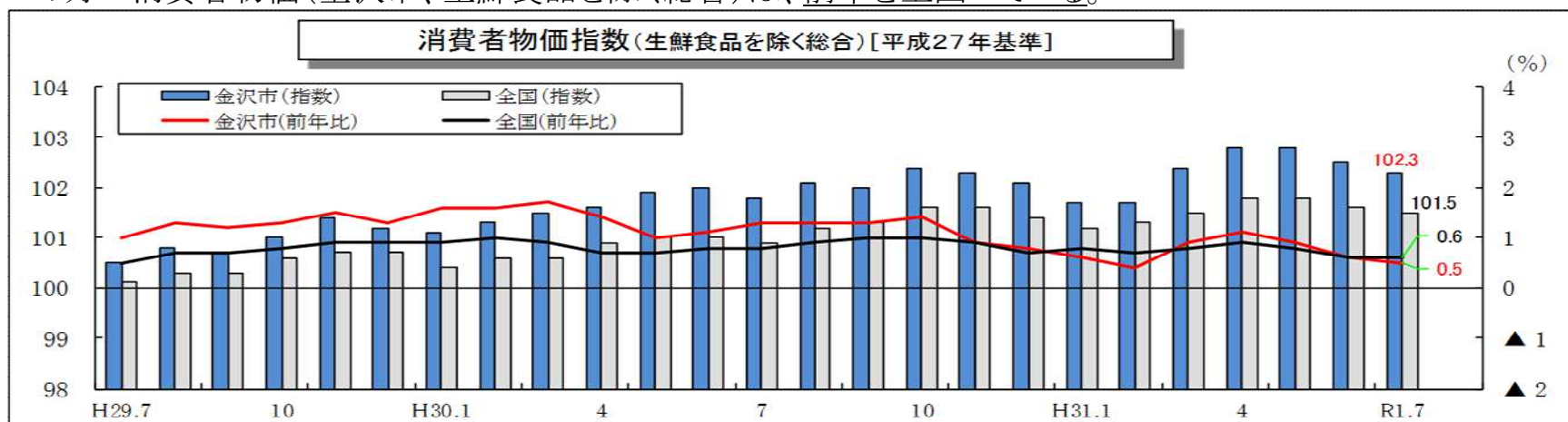
7月の新車販売台数は、普通乗用車が前年を上回っているものの、小型乗用車、軽乗用車が前年を下回っており、回復に向けたテンポが緩やかになっている。



(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、各県自動車販売店協会、軽自動車協会(石川県、福井県)、軽自動車検査協会(富山県)、北陸財務局

(消費者物価)

7月の消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている。

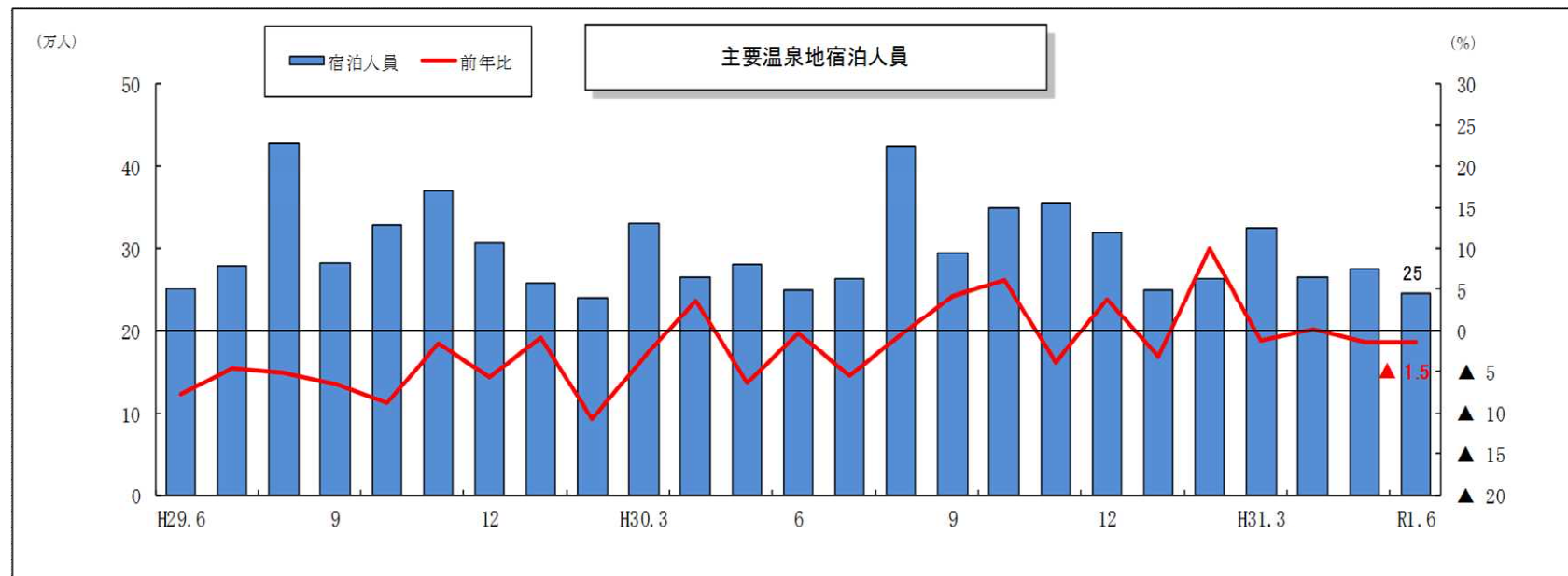


(資料) 総務省

(4) 観光・旅行関連

①主要温泉地

6月の主要温泉地の宿泊客数は、前年を下回っている。



(資料) 北陸観光協会

②主要観光地

7月の主要観光地の入込客数は、前年を上回っている。

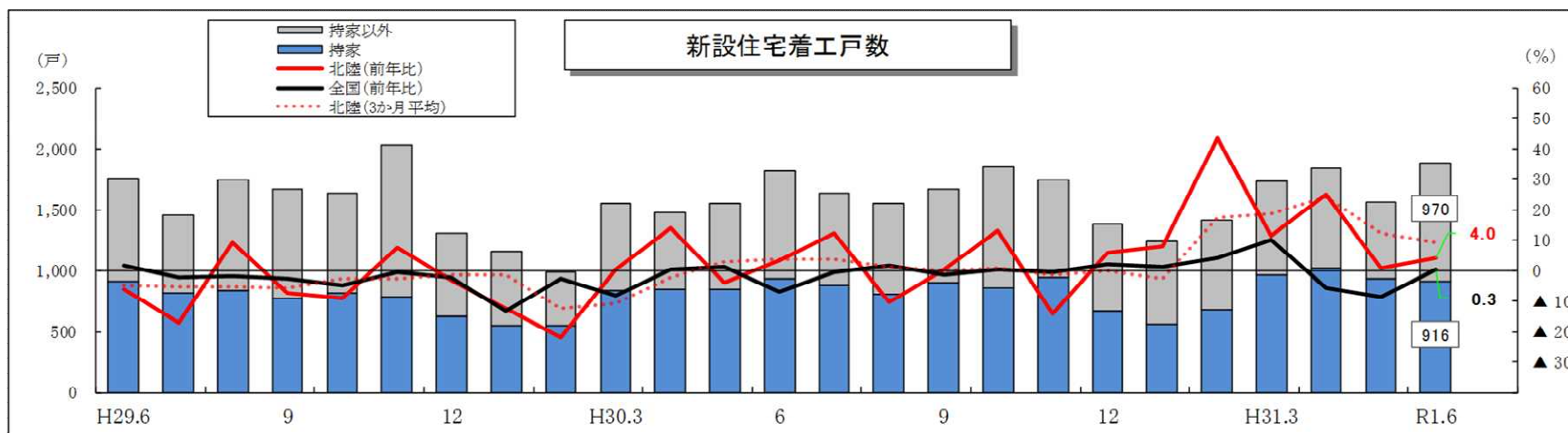
(旅行取扱状況)

6月の旅行取扱状況は、

- ・ 国内旅行は、北海道方面に動きがみられるとの声を聞いている。
- ・ 海外旅行は、ハワイ方面の動きが鈍いとの声を聞いている。

2. 住宅建設 … 持ち直している

6月の新設住宅着工戸数が前年を上回っていることなどを踏まえると、持ち直している。

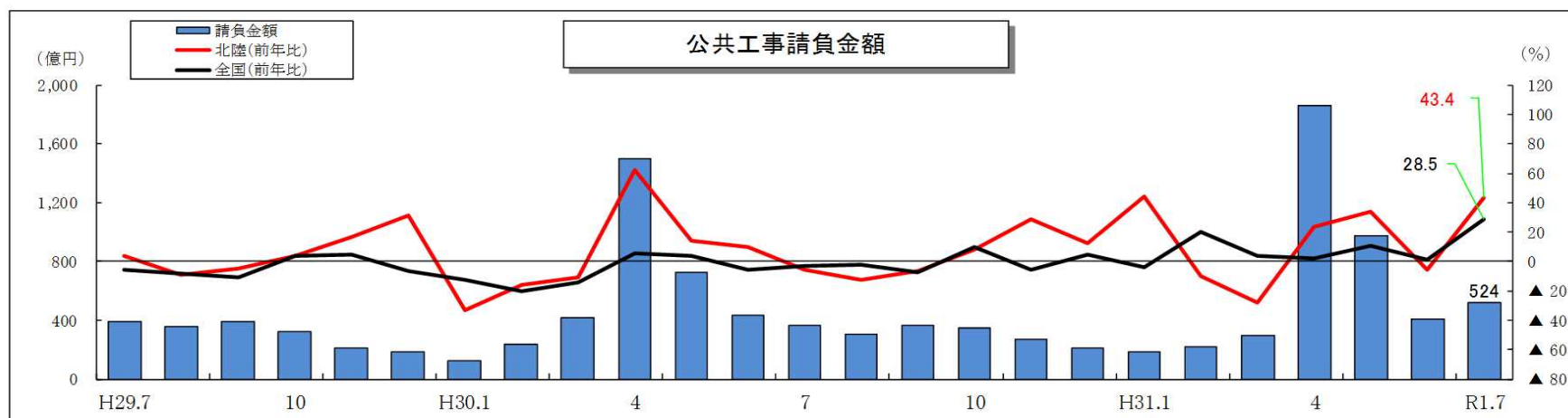


(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 国土交通省、北陸財務局

3. 公共事業 … 前年を上回っている

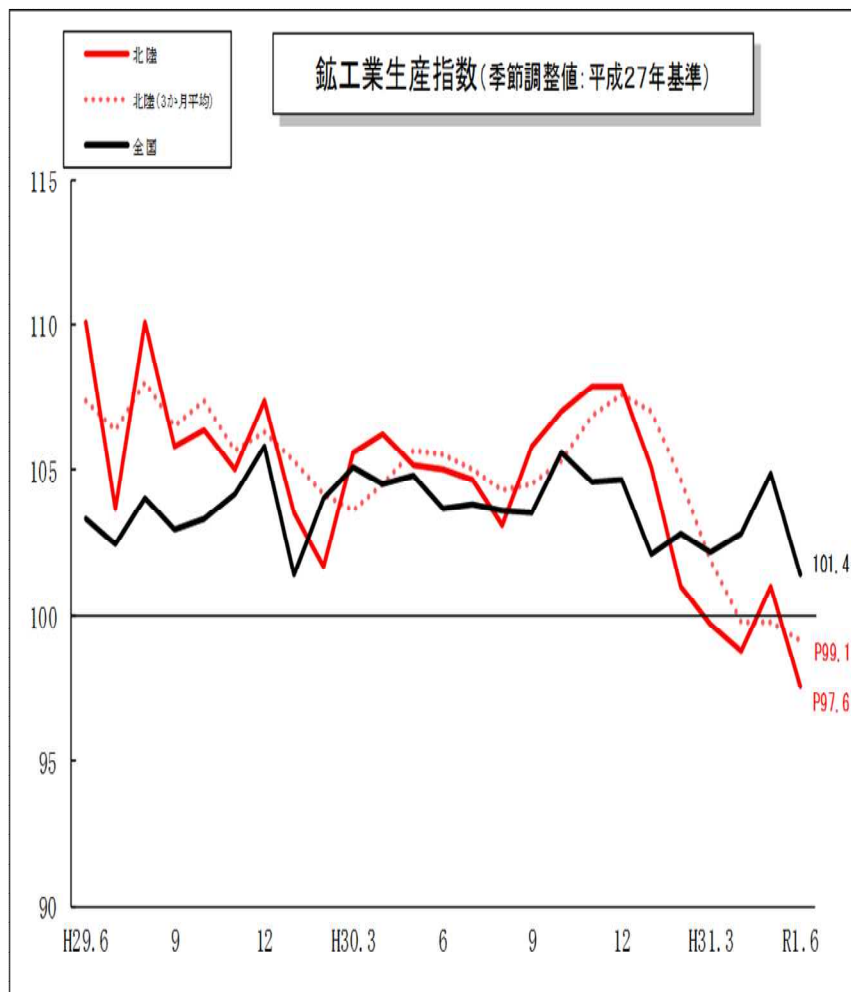
7月の公共事業を前払金保証請負金額でみると、前年を上回っている。



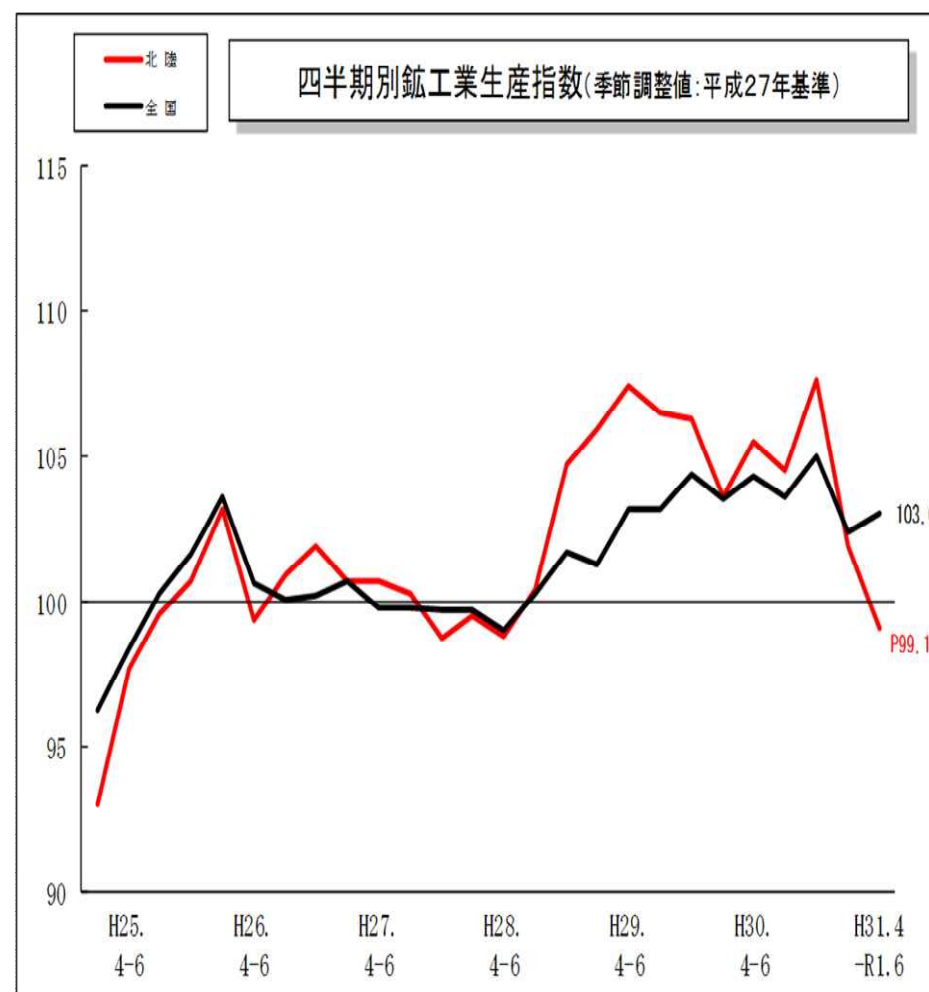
(資料) 北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)、北陸財務局

4. 生産 … 拡大の動きに一服感がみられる

電子部品・デバイスが足踏みの状況にあることや半導体製造装置に弱さがみられることから、拡大の動きに一服感がみられる。



(注) 3か月平均は当局試算。



(資料) 経済産業省、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

業種別にみると、

電子部品・デバイスは、自動車向けが増加しているものの、スマートフォン向けに弱さがみられることから、全体では足踏みの状況にある。

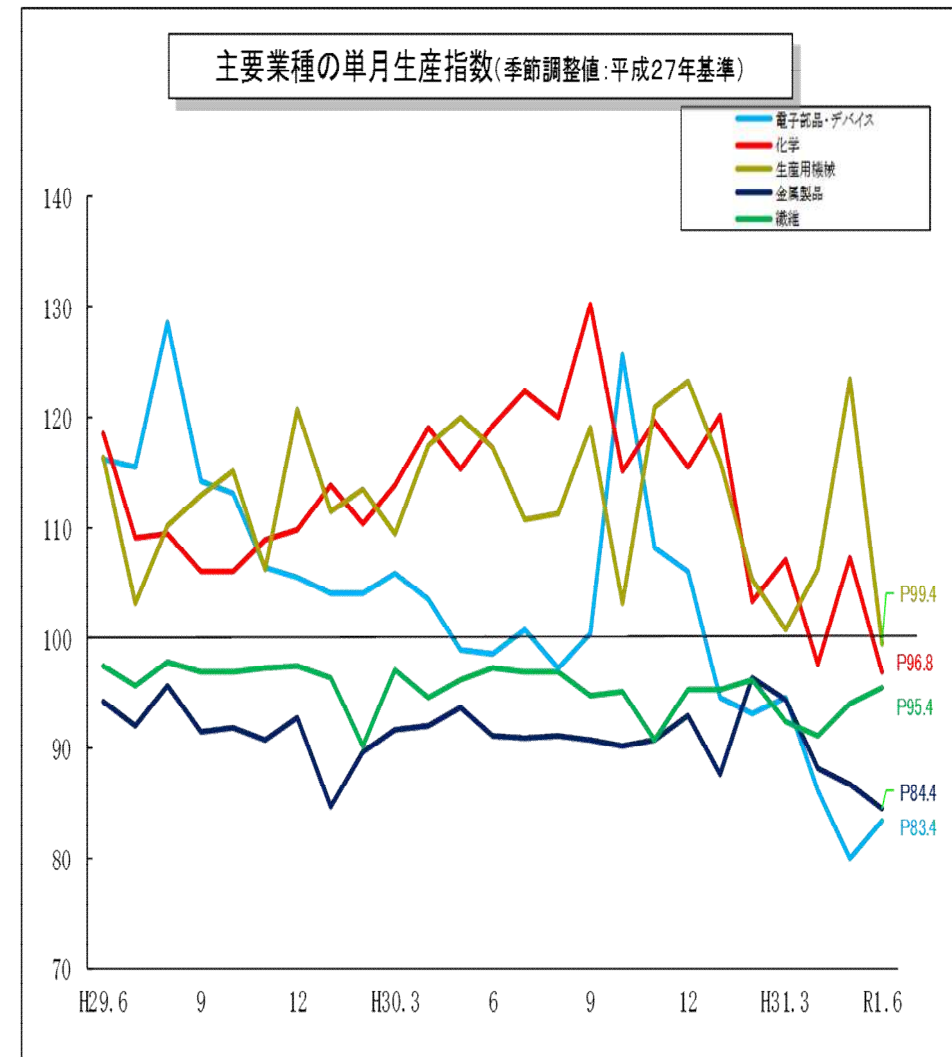
化学は、大宗を占める医薬品が、後発医薬品を中心に拡大している。

生産用機械は、半導体製造装置に弱さがみられるものの、金属加工機械が持ち直しているほか、繊維機械、建設・鉱山機械が増加していることなどから、全体では緩やかに回復している。

金属製品は、大宗を占めるアルミ建材で、住宅用が弱含んでいるほか、ビル用が弱い動きとなっていることから、全体では弱い動きとなっている。

繊維は、非衣料向けが堅調となっているほか、衣料向けに動きがみられることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

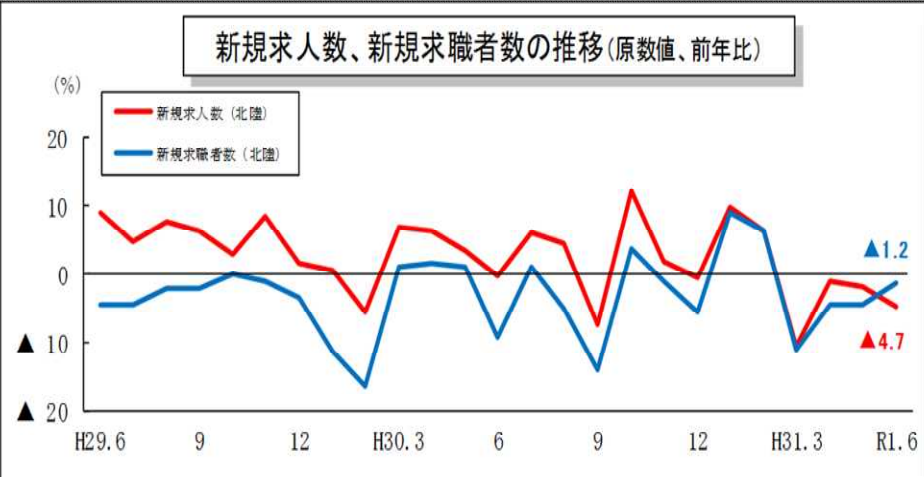
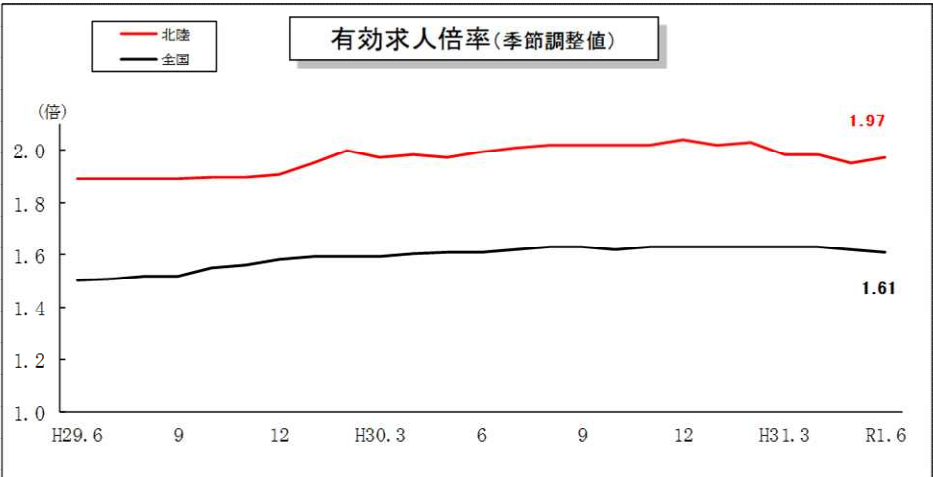
(参考) 法人企業景気予測調査(平成31年4-6月期調査):設備投資は令和元年度は増加見込み。(製造業+15.3%、非製造業+7.8%、全産業+12.4%)



(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

5. 雇用情勢 … 着実に改善しており、人手不足感が強まっている

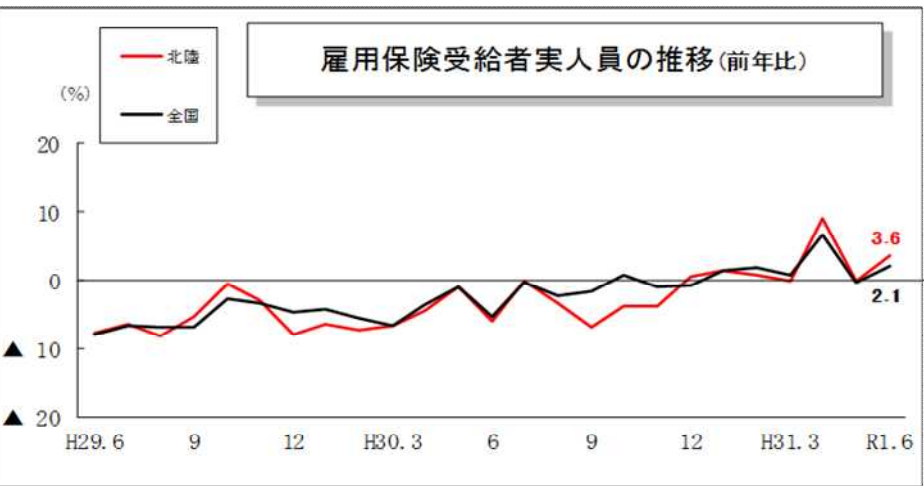
6月の有効求人倍率は、高水準で推移している。
新規求人数、新規求職者数ともに、前年を下回っている。
雇用保険受給者実人員は、前年を上回っている。



従業員数判断BSI(北陸3県)

(単位: %ポイント)

区分	平成31年3月末 前回調査	令和元年6月末 現状判断	令和元年9月末 見通し	令和元年12月末 見通し
全産業	35.6	(27.8) 34.0	(23.1) 29.9	26.4
製造業	38.0	(27.0) 27.0	(19.7) 21.9	19.0
非製造業	34.1	(28.3) 38.7	(25.1) 35.3	31.4



(資料) 北陸財務局「北陸3県の法人企業景気予測調査」

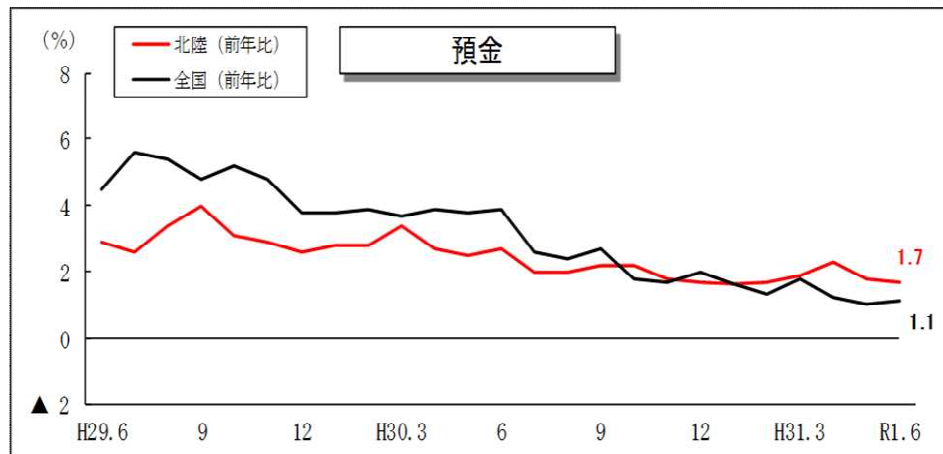
(資料) 厚生労働省、北陸財務局

(注) 1. 従業員数判断BSI = 「不足気味」回答社数構成比 - 「過剰気味」回答社数構成比。
2. 令和元年6月末、令和元年9月末の () は前回調査時の見通し。

6. 金融 … 預金、貸出金ともに前年を上回っている

(1) 預金

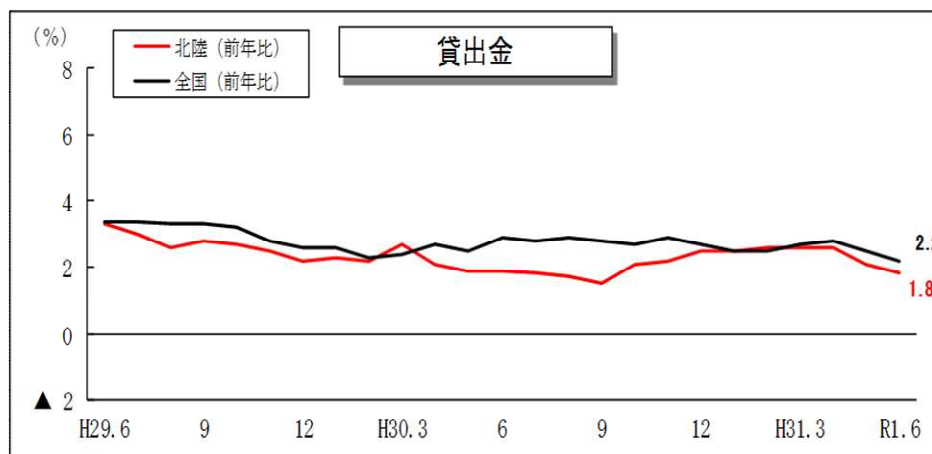
6月末の金融機関の預金は、前年を上回っている。



(資料) 日本銀行、信金中央金庫、北陸財務局

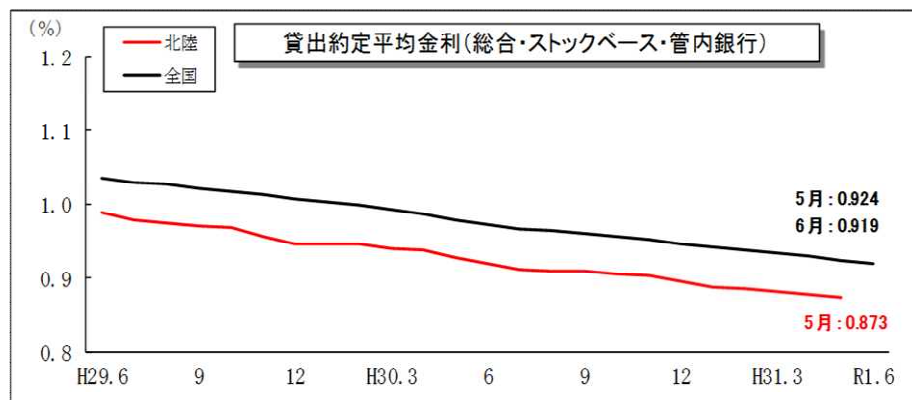
(2) 貸出金

6月末の金融機関の貸出金は、前年を上回っている。



(資料) 日本銀行、信金中央金庫、北陸財務局

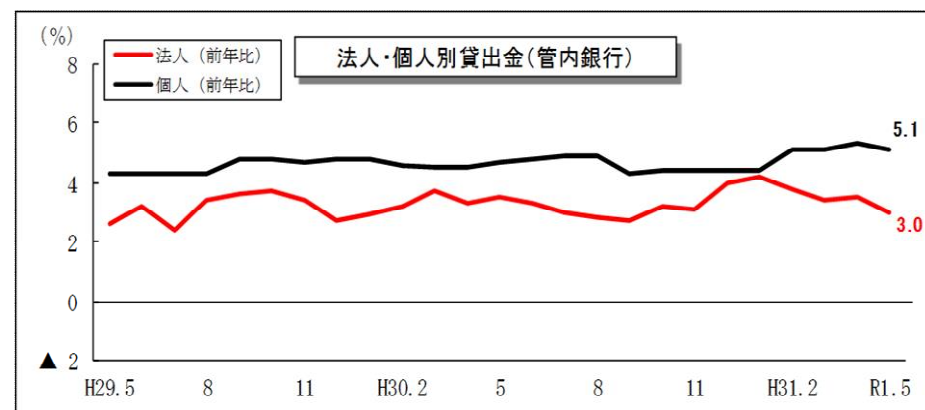
(参考) 貸出約定平均金利



(資料) 日本銀行

(注) 北陸3県内に本店を置く地方銀行・第二地方銀行の貸出金利を加重平均したもので、当座貸越を含め、金融機関向け貸出を除いたもの。全国は地方銀行。

(参考) 法人・個人別貸出金

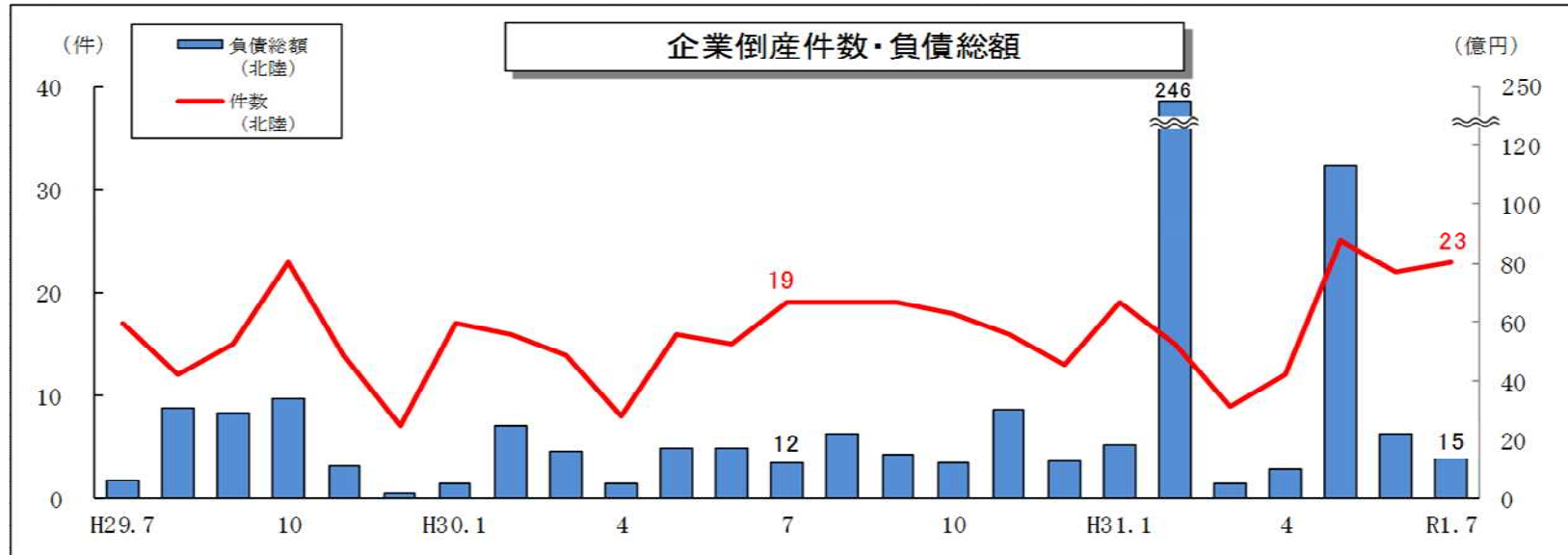


(資料) 日本銀行

(注) 北陸3県内に本店を置く地方銀行および第二地方銀行。

7. 企業倒産 … 前年を上回っている

7月の企業倒産(北陸3県)は、件数、負債総額ともに前年を上回っている。



(資料)東京商工リサーチ

(本調査における留意事項)

1. グラフデータの「p」は速報値。
2. 資料出所に「北陸財務局」とあるものは、当局において石川県、富山県、福井県の計数を合算等し、北陸3県の計数を試算したもの。
3. 新規求人数、新規求職者数の推移(8ページ)について、北陸の計数は、石川県、富山県、福井県の新規求人数(パートタイムを含む全数、原数値)、新規求職者数(パートタイムを含む全数、原数値)を合算して試算したもの。